



北海道・東北



ネット

北海道・東北ネットワーク研究会

北海道開催 〈北海道どさん子ラウンド〉

【期 日】 H26.7.12 (土)
【会 場】 北海道札幌南高等学校
【参加者】 小3名、高9名、大3名、行政3名



平成26年度2回目の北海道・東北ネットワーク研究会が北海道札幌市で開催されました。佐藤豊先生を始め、岩手県1名、東京都1名、北海道内から15名の参加があり、体育・保健体育の充実に向けて、北海道の牛乳を遙かにしのぐ、濃い内容となりました。

1 カレントトピックス【鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授】



佐藤教授からは、教育改革の現在の動向と高校体育のミッションについて情報提供がありました。

まず、教育改革の現在の動向では、21世紀型能力について説明があり、実践力、思考力、基礎力の育成において、保健体育の重要性を感じました。

また、体育の授業の在り方について、アメリカでの事例を紹介いただき、日本での保健体育の必修について危機感を持ちました。

さらに、観点別学習状況の評価における「知識」、「思考・判断」について、評価のイメージを構造図でわかりやすく説明がありました。

2 実践発表

(1) 北海道岩内高等学校【山本 直洋 教諭】

山本教諭から「指導と評価の一体化に向けた学習指導のあり方」として、岩内高校の実践について発表がありました。特に、生徒が記入する自己評価ノートを活用して、生徒の学習の状況を把握し、誤った理解や生徒の躓きを解消するための授業改善を図っているとのことでした。たいへん参考になる内容でした。



(2) 北海道北広島高等学校【堀川 政彦 教諭、黒田 祥嗣 教諭、森田 有 教諭】

堀川教諭、黒田教諭、森田教諭のチームプレーにより「教育課程研究指定校の取組」として、研究の概要及び取組状況について発表がありました。



研究テーマの1つである「目標に準拠した適切な評価規準の設定と評価方法の改善・充実」について、単元構造図に基づいた単元計画の作成や保健における課題学習の実践など北広島高校の取組を知ることができました。2年間の研究の成果が北海道の保健体育の発展につながることを願っています。

3 グループ協議

佐藤教授からのカレントトピックスと2校の実践発表を踏まえて、グループ協議を行いました。各グループでは、思考力、判断力を育成する学習内容の工夫や、3年間を見据えた年間指導計画の作成及び領域選択のあり方、態度の体系化についてなど熱心に協議が行われました。様々な立場の人や北海道以外の人と話をすることは、非常に勉強になったり、視野が広がったりなど重要なことだと改めて感じました。



【夜の部担当より】

終了時間を設定しなかったため、三次会まで行ってしまいました。本来であれば、ジンギスカンか焼き肉をメインにすれば良かったのですが、夏ということもあり、遠慮させていただきました。

来年は、一次会「ジンギスカン」、二次会「ホルモン焼き」、三次会「ラーメン」の満腹コースとさせていただきます。

